

大野一区

ニュース

「翔る」演奏

柿の浦太鼓「太鼓開き」

開催される！ 柿の浦太鼓代表 鈴木 一成

5月9日(日)午後1時30分大野東市民センターにて、松本太郎市長ら多数の来賓を迎え、柿の浦太鼓「太鼓開き」が開催されました。コロナ禍の中、ニュースの速報を聞いたたびに「開催して大丈夫か」ぎりぎりまで悩んだ末の決断で、集会所の閉鎖に直面し、子ども達の練習も十分に出来なかった上での太鼓開きでした。

全員による演奏



開演宣言に続き、柿の浦太鼓保護者村上智恵さんと大塚幸さんの担ぎ桶太鼓による、触れ太鼓の軽快なリズムに乗り幕が開きました。最初の曲は、柿の浦太鼓のオリジナルの曲、五月和作曲「郷の響 翔る」波穏やかな瀬戸の海、優美な水中花火大会、幻想的な管弦祭を織り交ぜながら、子ども達の元気なイメージを和太鼓で奏でようとする子ども達の真剣な顔、顔、最高の輝きを放っていました。

太鼓代表の「宝くじ助成事業助成金交付決定」経過説明後、来賓を代表して松本市長の心温まる激励の祝辞を頂きました。次に、宮島口の下藤進一さんの太鼓と福面

宮島踊り



の惣賀博之さんの音頭に、一区女性会（猪股藜子さんら多数）の皆さんが宮島踊りを舞台いっぱい踊り喝采を浴びました。次に、阿巖太鼓鼓響の会の皆さんの五月和作曲廿日市市広域合併記念曲「絆」を会場いっぱい響かせ、花を添えました。



全員集合で閉会宣言

大野東小5年村上莉桜さんの閉会宣言で幕が下りました。当日、柿の浦太鼓から巣立った中高生ら数名が駆けつけ、真新しい



新しい太鼓に興じる中高生

太鼓を叩き、喜びに浸っていました。

地縁団体に認可されました

4月の組長総会で、審議して決定された「廿日市市大野第一区規約」に団体名簿を添えて4月17日に申請書を提出し、6月1日付けで地縁団体法人として認可されました。

赤崎児童公園に建設予定の「仮称 宮島口集会所」の公的受け皿になります。来年4月1日からの開設に向けて、建設工事が始まります。

春の一斉清掃

環境衛生部会長
藤原 優

5月9日(日)に春の一斉清掃を行いました。

今回も昨年秋と同様、密を避けるため午前(8時~9時)と午後(16時~17時)に時間帯をわけて清掃活動を行いました。皆様のご協力で、どの場所も非常に綺麗になったと思います。非常に多くの方々にご参加いただき誠にありがとうございました。



柿ノ浦5号公園

また一部では、清掃時間終了後もご協力いただき、公園の植樹の伸びすぎた枝を伐採、公園外まで伸びた枝からの落葉の清掃、排水溝の汚泥処理、ごみ回収業者が回収できない規格外の木材の裁断など、通常の清掃活動以上に精力的に協力いただき大変ありがたく思っております。



トヨペット研修センター前の道路

清掃活動終了後は、早速、子ども達が楽しそうに公園で遊んでいる姿、散歩を楽しんでいる方々の姿が見られ、とても有意義な



赤崎児童公園



宮島口東2丁目と東1丁目の境の道路



宮島口3丁目と4丁目の境の道路



かえで幼稚園下福面公園



柿ノ浦4号公園

時間を過ごせたと感じております。もちろん普段より一区を清掃いただいている方々、並びに一区の活動にご理解・ご協力をいただいている方々が居られるからこそ、今の「大野」一区があると思うと、非常に感慨深く、この場をお借りして感謝の意を表したいと思います。いつもありがとうございます。



ファミマ前交差点付近

春の公園花づくり運動



青葉台集会所

環境衛生部会



花ひろば担当 田坂 弘和

福面集会所前公園

5月29日(土)に一区内の公園の花壇に夏用の花苗が植えられました。廿日市市福祉協会「Hana と花舎」から配布されたサルビア、マリーゴールドなど660ポットが8ヶ所の公園花壇に植えられました。

りお疲れ様でした。そしてこれからの除草、水やりもよろしくお願ひします。



青葉台第4公園

ちなみに配布された花苗は、区民の皆様が納められた「環境・健康募金」の内から形を変えて無償で提供されたものです。



かえで幼稚園下
福面公園



もみじ郵便局横三角公園



柿ノ浦2号公園

それぞれの公園担当者のセンスでレイアウトされ、いずれも立派な花壇が出来上がりました。副区長、花壇担当の皆さんは事前の耕作から植え付け作業までご足労下さ

手入れされた公園はその地区の子とも達の元気な声を産み、また地区民の親しみや絆を育んでくれます。公園の美化度はその地区の居住環境の優劣を推し量る物差しです。美しい花壇はその任務を十分にこなしてくれています。

一区内にはそれぞれ地区の人々により整備された公園が沢山あります。「一区に住んで良かった」と一層思える環境にしまししょう。



柿ノ浦3号公園



宮島口児童公園

バス通りの花樽植替え



花樽撤収中

環境衛生部会 花ひろば 広報係

バス通り沿いに設置されている花樽を夏用の花に植え替えのため、5月30日(水)に「花ひろば」に撤収しました。今年は昨年に続きコロナ禍で大掛かりな土づくりが出来ませんでしたが、それでも撤収した樽50個すべてに小規模ながら土を補充し「ポータチュラカ」の苗を植えました。



回収だるの花の撤去

このところの夏場の高温で花の生育不足が目立つようになったため、実験的にポータチュラカ(水やり少頻度対応)を選びました。花が咲き始めるとバス通りの数箇所に(水やりをして下さる処)改めて設置させて頂く予定です。



ポータチュラカ主体に植付け

コロナの影響でいろいろなことが制約されていますが、美化活動に於いても出来ることは試してみようと思っています。お礼が遅くなりましたが、応援いただいた皆さま、お世話になりました。



植付け後の水やり

防災倉庫総点検

防災部会長 島 啓二

大野一区防災部会は、阪神淡路大震災や東日本大震災を教訓に、平成24年に組織化され、宮島口地域防災会、宮島口上地域防災会、宮島口東地域防災会、福面地域防災会の4つの地域防災会で組織されております。それぞれの地域防災会には防災倉庫があり、地域防災会会長と副会長が資材の管理を行っています(柿の浦防災倉庫は防災部会長、防災副部長管理)。毎年資材チェックを行っていますが、折角の機会ですのでその一部をご紹介します。



柿の浦集会所横

それぞれの倉庫には、地震・火事・土砂崩れ・洪水などを想定して様々な資材が用意されています。一部を紹介しますと、消火用バケツ、スコップ、救助工具セット、油圧ジャッキ、エンジンチェーンソー、ボール、カケヤ、鋸、鎌、鉋、ボルトクリパー、救助用ロープ、レスキューボード、トイレ用の簡易テントとポータブルジョン、防水シート、土嚢袋、リアカー、一輪車、防水ライト、ハンドメガホン、ヘルメット、防塵マスク、皮手袋、救急セット等々です。宮島口公園倉庫には、洪水を想定して救助用ゴムボートも用意しています。

これらの資材は、補助金などを利用して毎年少しずつ購入したものです。使わないのはもったいないのですが、次の点検まで使用することがないよう祈りながら点検を終えました。

宮島口児童公園内



福面集会所横

